

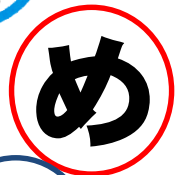
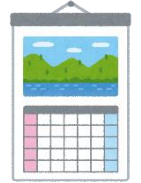


☆夏休みにしかできない経験とともに一学期の復習を

夏休みには楽しいことがたくさんありますが、この一ヶ月以上の間、まったく学習をしないのと、自分で計画的に学習を積み重ねるのでは大きな差ができます。1学期に学習したことの復習を中心に、できたことはより深く理解し、分からなかったところは確実に定着させられるように子どもたちへの声かけをお願いします。2学期のスタートをスムーズに切ることができますように規則正しい生活習慣の維持とともに、家庭学習へのご協力もよろしくお願いいたします。

☆うち学をするときの3つのポイント ~児童のみなさんへ~

うち学をするときの一番の目標は、自分ができなかったことや苦手だったことをできるようにすることです。まずは次の3つのポイントを意識して、1学期やこれまでの学年でできなかったことをできるようにしましょう。そして、苦手なことができるようになった後は、学習したことで特に興味をもったことをより深く調べたり、次に学習するときの予習をしたりしましょう。



①日付を書こう! (はじめと終わりの時間も書こう。)

日付を書くことで、いつ、どれだけ学習したのかを振り返ることができます。また、時間を書くことで、集中して学習しようという意識がもてたり、時間をかけて最高のうち学ノートができたという達成感ももてたりします。(ダラダラは×)

②めあてと振り返りを書こう!

その日のうち学で、何ができるようになるかという「めあて」と、本当にそれができるようになったのかという振り返りを書くようにしましょう。

③自分で丸付けをしよう!

特に漢字の復習や算数の復習では、ドリルを使うことが多くなると思います。ドリルを使った学習では、自分で丸付けをして、間違えた問題は、なぜ間違えたかを考えて残しておく、次やる時には間違えないように意識することができます。



☆コメントやスタンプでやる気スイッチオン ~保護者のみなさんへ

うち学は、自分のために自分で考えて子どもたちが取り組む学習です。効果的なうち学にするためには、子どもたちのやる気が重要です。おうちの方からのほめ言葉でぜひ子どもたちのやる気スイッチをONにしてあげてください。忙しくてコメントを書くのは大変という時には、内容に応じたスタンプを押すのも効果的です。学校に提出する物だからと遠慮されることなく、どんどんコメントを書いたり、スタンプを押したりしていただければと思います。



☆奈良県立教育研究所 家庭教育月間目標 ☆ 7月「はやね・はやおきをしよう!」



睡眠には、心身の疲労を回復させるとともに、子どもの脳や体を発達させる働きがあります。夏休みに入り、一日の過ごし方が変わる時期ですが、生活リズムがくずれないようにご協力をお願いします。

8月「じぶんのおてつだいをまいにちつつけよう!」

夏休みになり、子どもたちは家で過ごすことが多くなると思います。お手伝いで身につけた生活の知恵は生きる力になりますので、夏休み中にお手伝いをする機会をたくさんつくってあげてください。